

潮風を感じて…自然と味覚とふれあいの町



2025 NO.1387

9月号 広報ましけ



2~3P 【特集】戦後80年追悼 小笠原丸殉難者慰霊祭
4~6P まちの話題 (第68回増毛町港まつり、増毛小学校
旧校舎「肝試し大会」ほか)



増毛町公式
Instagram



増毛町公式
HP QRコード

小笠原丸殉難者慰霊祭



小笠原丸殉難者慰霊祭

8月22日午前10時から執行された令和7年度小笠原丸殉難者慰霊祭。増毛町では、毎年この日に実施している。

慰霊祭には、遺骨収集に尽力した村上高德氏のご遺族、海底ケーブル敷設船だった小笠原丸の後継会社のNTTワールドエンジニアリングマリリン(株)、NTT東日本北海道(株)旭川支店、NTT労働組合北海道支部、白鳥建設工業(株)留萌振興局長、留萌海上保安部長、増毛救難所長、増毛町議会議員等約50名が参列。

戦後80年追悼慰霊祭として執り行われ、小笠原丸殉難碑の横にNTTワールドエンジニアリングマリリン(株)からの企業版ふるさと納税による説明碑設置が報告された。



暑寒沢墓地に設置された説明碑

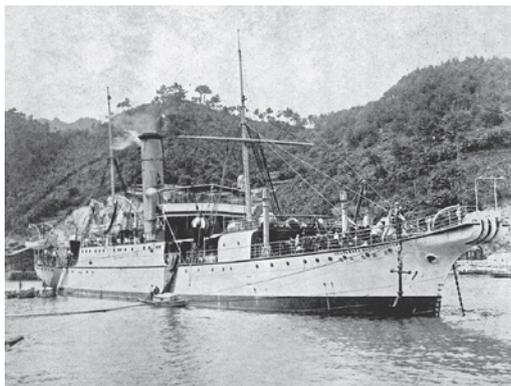
海底電線敷設船

小笠原丸は、明治39年8月に竣工、三菱長崎造船所で建造された国内で最初の海底電線敷設船。(総トン数1404トン) 通信省所屬。

日本近海区域の海底ケーブルの敷設に従事。第二次世界大戦終戦に伴い、樺太から引揚者の輸送業務にあたる。

昭和20年8月15日の終戦を稚内港で迎え、樺太在住の通信省関係者の引揚げを依頼され従事するも、ソ連軍の樺太侵攻により、多くの避難民が大泊港にあふれていたため、8月18日、1500名の引揚者に乗せて、稚内港へ輸送。

8月20日、再度、大泊港へ回航。1514名の引揚者に乗せて、大泊港を出港。稚内港で878名が下船。8月21日に秋田県船川港に向かう。



8月22日、午前4時22分、小笠原丸は増毛町別荘沖でソ連軍の潜水艦の魚雷攻撃を受け、直後に沈没。浮上してきた潜水艦から、機銃掃射を受けた。死者行方不明641名、生存者は、わずか61名。早朝で小雨が降っており、引揚者は、船内の通路や船倉に潜り込んでいたため、ほとんどの避難者が船と共に沈んだ。

吉村昭著の文庫文庫「総員起シ」の中の短編「鳥の浜」には、生存乗組員の証言や増毛町で取材された内容の記述がある。増毛町役場では、当日25艘の漁船を出動させ、沖合一帯の搜索に当たらせた。漁業者らは、生存者の姿を求めて船を走らせたが生存者は確認できなかった。日没時までには29遺体と150個にのぼる荷物を収容。

同日、午前4時55分、第二新興丸(2500トン)が鬼鹿沖で魚雷攻撃を受けて大破するも、潜水艦に大砲で反撃、自力で留萌港に着岸。乗船者3600名のうち、400名が死亡、行方不明。

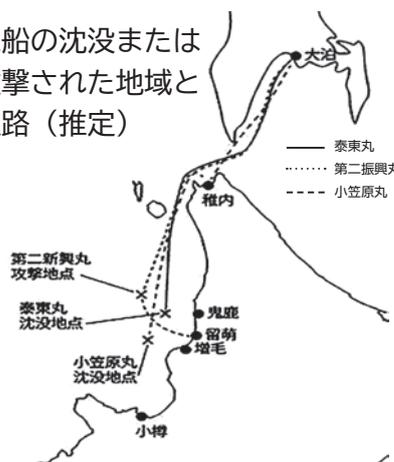
同じく、午前9時55分、鬼鹿沖で潜水艦の砲撃を受けて泰東丸(877トン)が沈没。乗船者780名のうち、667名が死亡、行方不明。

増毛町議会議員の村上高德氏は、

昭和26年から27年にかけて私財を投げうって、小笠原丸の犠牲者の遺骨を海底から引揚げた。

引揚げられた遺骨314体を、名前がわかっている629体に分骨。小笠原丸、第二新興丸、泰東丸の三船で1708名が犠牲となった。留萌沖三船殉難事件を忘れず、平和を願い、後世に語り継いでいかなければなりません。

三船の沈没または攻撃された地域と進路(推定)



北緯 44 度 浩太の夏
ぼくらは戦争を知らなかった

令和6年6月岩崎書店から出版。小平の小学校5年生の浩太たちが太平洋戦争終戦7日後の8月22日、ソ連の潜水艦に攻撃された三船のことを調べていく。お盆過ぎに海に入ると「海に引っ張られる」という言葉から物語は始まる。

児童文学作家 有島希音さんは、増毛町出身。

日本児童ペンクラブ主催の児童ペン賞大賞作品。小中高生におすすめの図書。7月6日、留萌市で有島希音さんの講演会が開催された。



第二新興丸に乗船



庄司道子さん
南畠中町1丁目

昭和20年8月22日、旧ソ連軍の潜水艦の攻撃を受け、大破しながらも留萌港に入港した第二新興丸に乗船。このとき、庄司さんは生後11ヶ月。

母親は庄司さんを背負い、4才と2才の姉を連れていた。父親は樺太で木材関係の仕事をしており、母と子どもたちが先に避難。小笠原丸と泰東丸は沈没したので、第二新興丸に乗っていなければ助からなかったという。庄司さん親子は翌日、丸瀬布の実家へとたどり着いた。幼子と乳飲み子を連れて避難した母親は、さぞ壮絶な体験をしたと思われる。

庄司さんは、上川高校から旭川高等看護学校へ進み、札幌で保健師の学校を卒業後、昭和42年に増毛町の保健師として赴任。

庄司さんが第二新興丸に乗っていたと聞かされたのは、結婚してから。その頃はまだ、増毛町内でも樺太からの避難者が多く住んでいた。

増毛町の保健師として10年間仕事をした後、留萌中学校、小平中学校、増毛中学校などで養護教員として勤務。「この地をば、ふるさととして 教師あり」という俳句を詠んだ。

退職後は、人権擁護委員、行政相談員として増毛町民のために活動。

いろいろな人と縁あって増毛で働かせていただいた。「私は、三船乗船者の一人として元気でいるので、恩返しのため、これからの人生、明るく生きていきたい。」とほほえむ。

7/26
(土)

熱気に満ちたビアパーティーと、耳をつんざくほどの花火！

～第68回増毛町港まつり～



大漁祈願の菓子ばらまき



抽選会



納涼花火大会

「第68回増毛町港まつり」が増毛港で開催され、会場には多くの観客が来場し、ビアパーティーや花火を堪能しました。

16時30分からは、増毛漁業協同組合青年部（土橋淳生部長）主催の「大漁お楽しみ会ビアパーティー」が始まり、ビールを片手に焼きホタテ、ピザなどを頬張りながら談笑する姿が多く見られました。その他、大漁祈願の菓子ばらまきや旅行券6万円分など200人分を超える豪華景品が用意された抽選会などが行われ、会場は大盛り上がりでした。

19時45分からは、「納涼花火大会」がスタート。雨が降り続ける中、目の前で打ち上がる大迫力の花火に観客たちは魅了され、夏の一夜を楽しみました。グランドフィナーレでは、suis from ヨルシカ「若者のすべて」の曲に合わせて、色鮮やかなスターマインが夜空を埋め尽くし、会場は万雷の拍手で包まれました。

7/18
(金)

果樹園地帯の活性化に活用してほしい

～（株）北洋銀行から町へ寄付～



株式会社北洋銀行（津山博恒取締役頭取）から、果樹園地帯活性化拠点整備事業に役立てて欲しいと、企業版ふるさと納税制度を活用し、町へ1,000万円のご寄付をいただきました。

寄付金の贈呈にあたっては、増田仁志副頭取が来町され、堀町長に目録を手渡すと共に、「増毛町は日本最北の果樹園地帯として広く知られています。今回の寄付がこの地域の魅力向上に貢献できれば幸いです」と述べられました。

8/2 (土)
8/3 (日)

華麗なビルドアップを披露！

～第36回増毛リトルカップサッカー大会～



増毛町、町教育委員会主催の「第36回増毛リトルカップサッカー大会」がリバーサイドパークで開催され、町内外から12チームが参加しました。

本大会は男子小学4年生以下及び女子小学6年生以下が対象で、増毛町のスポーツ交流事業として開催されています。

増毛サッカー少年団は7位入賞となり、チーム一丸となって闘志溢れるプレーを披露し、白熱した試合が繰り広げられました。

8/11(日)～
8/16(土)

黒板が色鮮やかな キャンバスに

～「黒板アート2025」～



増毛町観光協会主催（林花織会長）の「黒板アート2025 at 北海道遺産・増毛小旧校舎」がお盆期間中に開催されました。

今年は公募で集まったアーティスト12組が、旧校舎の教室や会議室で作品を創作。それぞれの黒板には、増毛町の特産品のフルーツや留萌管内のゆるキャラ等が色鮮やかに描かれた作品が展示されています。

なお、校舎の見学は9月末までの毎週日曜日、10時から15時まで開催しています。

8/7
(木)

増毛町で4社目となる 協定締結

～北海道家庭教育サポート企業等制度締結式～



北海道留萌教育局は、孝子屋ぐるめ食品株式会社（若林和彦代表取締役）と北海道家庭教育サポート企業等制度の協定を結びました。

同社では、学童保育を通じて月に一度、自社製造したパンの無償提供など、子ども達が参加する行事や学校の取組等への協力・支援を行うための取組を進めています。

若林代表取締役は「食育を通じて、子ども達の成長に寄与したい」と話しました。

8/15
(金)

戦没者の冥福を祈る

～増毛町戦没者追悼式～



増毛町戦没者追悼式が文化センターで行われ、遺族や来賓合わせて約40名が参列しました。

式辞では堀町長が「過去の戦争を改めて振り返り、再び悲劇を繰り返さないという決意を新たにいたします」と追悼の言葉を述べました。

参列者は、祭壇に白菊を献花し、戦争により尊い命を犠牲にされた方々への冥福を祈り、増毛町遺族会の大西末治会長が「戦争を知らない世代に、平和の大切さを語り継ぐことが我々の責務である」と誓いの言葉を述べました。

8/8
(金)

夜の木造校舎で響き渡った 恐怖の絶叫

～増毛小学校旧校舎「肝試し大会」～



増毛小学校旧校舎「肝試し大会」が開催され、町内外合わせて144名が参加しました。

参加者は、懐中電灯の明かりだけを頼りに、体育館や保健室に設置された3カ所のチェックポイントを巡って、ゴールを目指しました。

廊下には、今にも動き出しそうな人体模型の骸骨や参加者を驚かせるギミックが設置され、夜の木造校舎に身体を震わせながら、勇気を出して校舎内を歩く姿が見られました。

8/1 (金) ~
8/24 (日)

雄大で美しい 自然の魅力を紹介

～元陣屋特別展「暑寒別岳の自然展」～



「暑寒別岳の自然展」が元陣屋で開催され、雄大で美しい自然の魅力が紹介されました。

暑寒別岳は、増毛山地の主峰として標高1491メートルを誇り、山頂付近には7月下旬まで雪が残るなど、四季折々の美しい姿を見せるのが特徴。「花の百名山」にも選ばれる暑寒別岳は、マシケゲンゲ等の固有種が咲くことでも知られており、来場者は、解説パネルを読みながら写真や映像を観覧していました。

8/14
(木)

やぐらを囲って 夏のひとときを堪能

～納涼盆踊り大会～



町商工会主催の「納涼盆踊り大会」がメモリアルパークで開催され、町民ら約350人が来場しました。

この日は、子供盆踊りや増毛音頭のほか、ミヤンマー出身の若者たちが、母国の郷土芸能である踊りを披露する場面も見られました。

会場内では、ビールやジュース、焼き鳥などの販売や抽選会も行われ、来場者は夏の楽しいひとときを堪能しました。

ヒグマとの事故を防ぐために

- ① 野山には1人で入らず、複数で行動するようにしましょう。熊鈴やラジオなどを持って、会話しながら、人の存在を知らせましょう。
- ② 薄暗いときの行動は避け、野山に入る前には、新聞やテレビなどで、ヒグマの出没情報などを確認しましょう。
- ③ ヒグマは、いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没するようになります。ゴミを野外に放置したり、埋めたりしないようにしましょう。
- ④ ヒグマのフンや足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返しましょう。
- ⑤ 万が一、ヒグマに遭遇した場合は、落ち着いて行動しましょう。逃げたり、騒いだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ、襲われる危険があります。リュックや持ち物の回収はせず、ゆっくりと静かに立ち去りましょう。持ち物を回収すると熊は執拗に攻撃してきて危険です！
- ⑥ 野山に入る際は、万が一、ヒグマに遭遇した場合に備え、熊撃退スプレーや熊鈴を携帯しましょう。



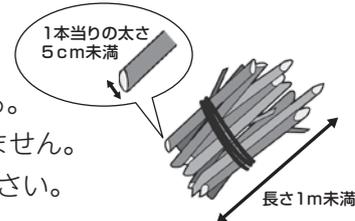
【お問合せ先】留萌警察署 (☎ 42-0110)

せん定枝の特別収集について

町では、10月に「庭木のせん定枝」を無料で収集します。指定された日以外の排出は、有料扱いとなりますのでご注意ください。

【庭木のせん定枝の出し方】

- ・枝の長さを1m未満(太さ5cm未満)にして、1mくらいの紐で縛る。
- ・庭、畑などを整理したもの(囲いなどの木・とうきび等の茎)は出せません。
- ・使用しているゴミステーションの横に、午前9時までに出してください。



【庭木のせん定枝の特別収集日】

収集日	収集地区
10月6日(月)	阿分、信砂、舎熊、箸別、湯の沢 『ステーション番号 1～54、192、200』
	中歌、港町、見晴町、市街地区(海岸通線から3丁目通線まで) 『ステーション番号 55～106、202～206、208』
10月13日(月)	市街地区(4丁目通線から暑寒沢まで) 『ステーション番号 107～166、201、207』
	別荘、岩尾、雄冬 『ステーション番号 167～191、193～199』

※必ず全ての葉を取ってゴミステーションに出すようにしてください!

※杉、松、おんこ等の針葉樹のせん定枝については出すことができません。

環境への負荷を減らすため、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

■お問合せ先

留萌南部衛生組合 (☎43-2555、43-2588) 役場町民課・町民環境係 (☎53-1112)

弁護士による

出張無料法律相談会

あなたがお住まいのところまで、弁護士が出張します。

【相談日時】

9月25日(木) 13時00分～16時00分(30分×6枠分)

※相談は、前日までの事前予約制とさせていただきます。(先着順)

【相談場所】

増毛町文化センター

【相談料】

無料

【相談担当者】

旭川弁護士会に所属する弁護士

【相談内容】

債務整理、離婚・相続、成年後見、民事事件、刑事事件など、幅広い相談に対応します。

この機会に、日頃の悩みについて、お気軽にご相談ください。

【事前予約・お問合せ先】

役場町民課・町民環境係 (☎53-1112)



無料法律相談会日程表

【令和7年】

★9月25日(木)

増毛町 [文化センター]

☆10月23日(木)

羽幌町 [勤労青少年ホーム]

☆11月27日(木)

初山別村 [自然交流センター]

☆12月25日(木)

苫前町 [コミュニティーセンター]

【令和8年】

☆1月29日(木)

小平町 [文化交流センター]

★2月26日(木)

増毛町 [文化センター]

☆3月26日(木)

羽幌町 [勤労青少年ホーム]

※お住まいの市町村以外でも上記で開催される相談会に申し込めば、ご参加が可能です。

【お問合せ先】

◇小平町 ☎56-2111

◇苫前町 ☎64-2212

◇羽幌町 ☎62-1211

◇初山別村 ☎67-2211



【防災特集】

今年は猛暑により本州では雨が降らずにダムが渇水し、逆に九州などでは線状降水帯により、浸水や土砂災害が発生し死傷者を出しました。道内でも猛暑に見舞われ、熱中症が多数発生しました。

近年の異常気象は、温暖化による平均気温の上昇が要因とされ、このままでは今後も温暖化が加速し自然災害の頻発化、激甚化が懸念されています。

地震や津波は温暖化とは関係なく発生し、大きな被害をもたらします。巨大地震や津波災害がいつ・どこで発生してもおかしくない地震列島に住む私達は、覚悟し準備しておく必要があります。

能登半島地震では数か月後に水害に見舞われ、復興途上の苦労や努力を打ち砕かれたことから、私達は災害が重複して襲来することを現実として再認識し、不断の準備をする必要があります。

今年6月に北海道から「日本海沿岸の地震・津波被害想定」が公表され、冬期の夜に発生した場合、増毛町の避難者は2,000人であると試算され、個々の災害対応が重要となります。

～災害に対する準備～

① 非常持出（避難時にすぐ持ち出す物）

持出し品は、家族構成や季節により必要となる内容が異なるため、自分に必要な物をハザードマップで確認しましょう。特に、持病薬（1週間分）やお薬手帳は必須です。

② 備蓄食糧等（在宅避難の際に必要な物）

自宅で避難生活（在宅避難）を送る場合、一人一日3食として最低3日分（推奨は1週間分）を備蓄しておきます。食料以外の備蓄品も家族構成や季節により異なるため、ハザードマップを確認して上手にローリングストックしましょう。

③ 防災意識（危機回避能力）

津波は襲来する前に高台へ避難すれば助かるため、揺れが収まったら警報の発令を待たずに、直ちに避難行動を開始することが最も重要です。増毛町では、地震と津波はセットで発生することを共通認識として、子供たちへ周知徹底しておきましょう。

人は自分の身に災いが降りかかると、警報が発令されていても、現実から回避する制御（正常性バイアス）が働くことで避難行動を起こしづらくなり、避難の遅れに繋がります。これを解消させるには、津波の襲来や避難している人を実際に見ることで行動を起こすようになります。また、防災無線や消防・警察からの避難広報、家族や周囲の人からの助言により、現実を正確に把握し事態の重要性を理解して、危険回避行動に移すことができます。

防災訓練や救命講習等に参加すれば、防災知識やスキルが必ず身に付きます。

～防災担当者から一言～

地震や津波の予想はデジタルな現代でも困難で、発生を止めることは不可能です。災害は予防するのではなく正しく捉え、物品を準備し行動することで、減災（被害の軽減）を図ることが重要です。

減災のためには、あなたや家族の命が最優先であることは言うまでもありません。



土田 智洋 主任

【お問合せ先】 役場総務課主任／防災士・救急救命士（☎53-1111）

9月1日は「大腸がん検診の日」

がんは今や2人に1人がかかる時代となりました。大腸がんは早期発見・早期治療で95%が治ると言われていますが、がん死亡の第2位となっています。日本対がん協会は、9月を大腸がん征圧月間と決めました。増毛町ではがん検診を行っておりますが、みなさん検診は受けていますか？特に5大がん（胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん）は早期発見と早期治療が可能とわかっており、がんの死亡率を低下させることを目的として行われています。

他のがんは調べられるの？



肝臓・すい臓・腎臓など5大がん以外のがん検診は効果があるか不明だったり、身体への負担が大きかったり、費用が高額だったりデメリットがあり、国で広く検診という形で定められていません。

しかし、増毛町では、5大がん以外にも胃がんの原因となるピロリ菌を調べる「ピロリ菌検査」、肝臓がんの原因となるウイルスを調べる「肝炎ウイルス検査」、「前立腺がん検査」を行っています。

10月には集団健診も！

10月10日（金）・11日（土）に文化センターにて集団健診が実施されます。現在空きがございます。申し込みをされていない方ご希望の方は、保健指導係までご連絡ください。

がんの原因がわからないことも少なくありませんが、喫煙・食生活の欧米化など生活習慣に原因が求められることもあります。がん検診だけでなく、特定健診や職場健診などの健診を受けて、ご自身の生活習慣を見直すことは生活習慣病予防だけでなく、結果的にがん予防にもつながります。



ぜひ健診&検診を受けましょう

【お問合せ先】 役場福祉厚生課・保健指導係（☎ 53-3111）

地域包括支援センターだより

～介護予防教室に参加してみませんか！～

増毛町では、高齢者の方が元気に過ごせるように、介護予防教室を開催しています。

★脳生き生き音楽教室★

音楽療法士の菅原沙織さん（元地域起こし協力隊）が弾くピアノに合わせて、みなさんと歌ったり、ハンドベルを使ってメロディーを奏でることも！声を出して歌を歌うことで顔やのどの筋肉を刺激し、ストレスの解消にもつながります。

・日時：週1回（水曜日）10:30～11:30 ・場所：健康一番館 ・持ち物：飲み物



★ふまねっと運動教室★

「ふまねっと」は、50cm四方の大きなマス目でできた「あみ」を踏まないように歩く運動です。音楽や手拍子に合わせて、「あみ」に足がからまないように注意し、一步一步正確に歩くことで、脳の神経細胞が活発になるといわれています。

・日時：毎月第1・3金曜日 13:30～14:30 ・場所：文化センター 2階中ホール
・持ち物：運動靴、動きやすい服装、飲み物



※どちらも健康ポイントの対象です。参加費は無料です。送迎はありません。

※事前申込は不要ですが、日程等を変更する場合がありますので、毎月の広報でご確認ください。

【お知らせ】

* 9月17日（水）認知症の人と共に暮らすまちづくり研修会…今月号広報折込をご覧ください。

* 10月15日（水）認知症サポーター ステップアップ講座…10月号広報でお知らせします。

【お問合せ先】 地域包括支援センター（健康一番館内）（☎53-3111）

募集

増毛町社会福祉協議会職員(増毛町立明和園)

【養護・特養介護員】

■募集人員

若干名

■応募資格

年齢18歳～

(上限なし、健康であれば可)

※介護福祉士、介護職員初任

者研修修了以上の方

■勤務時間

・早出7時30分～16時15分

・遅出9時30分～18時15分

■勤務形態

日勤2交替制の勤務

※年間休日123日以上

(長期休暇あり)

■賃金

○有資格者(初任者研修)

月額180,900円以上

○有資格者(介護福祉士)

月額183,200円以上

○日額 8,500円～

※経験者は前歴を考慮し、加

算して賃金を決定します。

■手当

各種手当あり

■採用期日

採用決定後、速やかに採用

(応相談)

【調理員】

■募集人員

1名

■応募資格

年齢18歳～

(上限なし、健康であれば可)

※無資格可

■勤務時間

・早出6時00分～14時45分

・遅出9時15分～18時00分

■勤務形態

日勤2交替制の勤務・週休

2日制

※年間休日123日以上

(長期休暇あり)

※時間給希望の場合、勤務日

数や勤務時間を調整する

ことができます。(応相談)

■賃金

○資格なし

月額161,300円以上

※経験者は前歴を考慮し、加

算して賃金を決定します。

※時間給等を希望の場合は

要相談

■手当

各種手当あり

■採用期日

採用決定後、速やかに採用

(応相談)

町営住宅空家情報

(9月1日現在)

(5311601)

町営住宅に空きがあるこ

とから、左記のとおり募集し

ます。

■住宅所在地

①南暑寒町7丁目

②暑寒海岸町

■団地名・募集戸数

①アップル団地 3戸

②かもめ改良団地 4戸

※全て3LDK、除雪当番が

あります

■住宅料

①20,000円

②35,000円程度

(共益費:500～1,000

円程度)

※年間所得により異なります。

②21,000円

③27,000円程度

町営住宅に空きがあるこ

とから、左記のとおり募集し

ます。

■申込方法

役場建設課建築係で申込

書を受取り、関係書類を添え

てお申込みください。

■役場建設課・建築係

(5311115)

お知らせ

「第54回増毛秋の味まつり」
「ホタテもサケもフルーツも」の開催について

「増毛秋の味まつり」を開
催します。

秋鮭の限定販売や農産品、
水産加工品の販売など増毛町
の秋の味覚が大集結します。
その他にも、大抽選会やホ

(共益費:3,000～4,000円程度)

■資格要件

①町税等の滞納がないこと

②収入基準を超えていない

こと

・公営住宅・世帯所得の合

計が月額158,000円

以下

・改良住宅・世帯所得の合

計が月額114,000円

以下

■申込方法

役場建設課建築係で申込

書を受取り、関係書類を添え

てお申込みください。

■役場建設課・建築係

(5311115)

公正週間のお知らせ

10月1日(水)から10月7

日(火)までは公正週間です。

公正人は、公正役場におい

て遺言や大切な契約などの

公正証書の作成、会社を設立

する際の定款の認証などを

行っています。

公正人は、法務大臣によっ

て任命される公務員です。

遺言者の家族関係にふさ

わしい形で財産を承継させ

ます。

■日程

9月28日(日)

10時00分～14時00分

■会場

増毛港中央埠頭

■その他

詳細につきましては、左記

のお問合せ先までご連絡くだ

さい。

■役場商工観光課(実行委

員会事務局)

(5313332)

るには、遺言をしておくことが一番です。遺産争いを予防し、紛失の心配もないので、後に残された方々が困りません。原本は公証役場で保存していますので、偽造・変造の心配ありません。

また、公証人が自宅や病院（施設）へ出向いて遺言書を作成することもできます。

公証制度の詳細については、公証役場又は法務局にお問い合わせください。

関旭川公証人合同役場

(☎016612310098)

旭川地方事務局

(☎016613811144)

**増毛町合同墓の納骨日
(令和7年9月)について**

増毛町合同墓の令和7年9月の納骨日について、お知らせします。

■納骨日

9月26日(金)

■納骨可能時間

9時30分～11時30分
14時00分～16時00分

※納骨を希望する場合は、必ず納骨日の前日までに申

請手続き及び予約を完了してください。特に、他の墓地等からの改葬の場合には時間を要しますので、お早めの手続きをお願いします。申請手続きについては、増毛町役場公式ホームページまたは広報ましけ4月号をご覧ください。



合同墓について
旭川地方事務局

※合同墓に一度納骨した焼骨は、取り出すことはできません。ご使用にあたっては申請する方だけで決めます。必ず他の親族等とご相談の上、検討してください。

関役場企画財政課・管財係

(☎5311110)

**高校通学費補助の
交付申請について**

町では、町内から留萌高校へ通う生徒の通学費等の助成を行っています。4～9月分の申請の締め切りが9月30日(火)までとなっ

ています。

対象者の方は、3月に送付しました申請書類を、期日までに提出いただきますようお願いいたします。

関教育委員会総務学校課・総務係

(☎5312427)

**みんなで参加しよう
「ごだらっぺ王国祭」**

子ども活動会議が主催し、小学5・6年生の実行委員が企画運営をする「ごだらっぺ王国祭」を開催します。ゲームで獲得した「らっぺ紙幣」を使い、出店で食事をする事ができます。皆さんのご参加をお待ちしています。

また、当日の運営にご協力いただける大人スタッフを募集しています。お手伝いいただける方は左記までお問い合わせください。

■日時

9月23日(火・祝)
10時00分～

■場所

・町立体育館
開会式・ゲーム会場

・文化センター大ホール
出店会場

■その他

上靴を持参してください。

関教育委員会地域学習課・社会教育係

(☎5312427)

**令和6年度増毛町情報
公開条例に基づく実施
状況について**

■期間

令和6年4月1日～
令和7年3月31日

■開示状況

・請求受理件数 5件(全部公開3件、一部公開0件、不存在2件)
・不服申立件数 0件

関役場総務課・情報管理係

(☎5311666)

**秋の全国交通
安全運動の実施**

■運動期間

9月21日(日)～9月30日(火)の10日間

■ドライバーの皆さんへ

日没が早くなります。特に

薄暮時間帯は「スピードダウン」と「安全確認」を徹底しましょう。

■歩行者の皆さんへ

外出するときには明るい色の服装や反射材を身につけましょう。

横断歩道を渡るときは、手をあげる等の合図をして、ドライバーに「道路を横断する意思」を伝えましょう。信号が青になってもすぐに横断せず、近づいてくる車がいなしか安全を確認してから渡り始めましょう。

■自転車事故の防止について

左記の5原則を守って、交通事故の加害者にも被害者にもならないようにしましょう。

【自転車安全利用5則】

- ①車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③夜間はライトを点灯
- ④飲酒運転は禁止
- ⑤ヘルメットを着用

関留萌警察署

(☎4210110)

市街地区敬老会開催中止に伴う敬老祝いの品の配布について

市街地区敬老会につきましては、開催しないことが決定していますが、市街地区の該当する高齢者の皆様には敬老祝いの品を配布いたします。配布の時期は9月中旬から下旬を予定しています。

また、市街地区以外の敬老会については、開催の有無及び開催方法については各自治会等に一任することになりますので、よろしくお願います。

閩役場福祉厚生課・民生係
(☎531111)

9月10日は「下水道の日」

下水道の日は、下水道の普及促進活動を全国に発信するため、昭和36年に建設省（現国土交通省）及び関係機関で定められたものです。

町では、皆様に事故無く安全に下水道をご利用いただけるよう下水道管の点検や処理施設の改修等を行い、

適切な維持管理に努めています。

下水道は、皆様の生活環境をより良くするための公共財産です。てんぷら油などの廃油や、紙おむつなどの下水道管がつまる恐れのある物は流すことのないようにご協力をお願いします。ご近所のお宅の流れが悪くなり、閉塞事故の原因となるばかりか、処理施設の事故につながる恐れがありますので、正しくご利用いただきますよう利用者皆様のご協力をお願いします。

閩役場上下水道課・下水道係
(☎5311152)



市街診療所からのお知らせ

市街診療所では、現在毎週火曜日に行っている午後診療について、8月13日水曜日から、毎週水曜日も追加し実施を始めました。内容は、

現在実施している毎週火曜日の午後診療と同様で、午前中は通常どおり午前8時15分～午前11時30分までの受付となり、午後からの受付は13時00分～15時30分までといたします。

また、感染症拡大防止の為、風邪症状（発熱・咳・喉の痛み・鼻水等）のある方については、午前は9時以降・午後は13時以降に必ず来院前にお電話をいただきますようお願いします。

なお、緊急を要する症状（体調が悪い）の方については、午前中に受診するようにお願いいたします。

閩市街診療所
(☎5311811)

増毛町フォトコンテスト2025の開催について

増毛町フォトコンテスト2025を開催します。

■テーマ
～味覚の宝庫増毛町～
海産物・農産物や食の魅力が伝わる写真を大募集！
■募集期間
6月1日（日）～10月31日

（金）必着

■賞・賞品

【一般の部】

・最優秀賞（1点以内）
2万円相当の賞品

・優秀賞（2点程度）
1万円相当の賞品

・入選（2点程度）
3千円相当の賞品

【学生の部】

・最優秀賞（1点以内）
1万円相当の賞品

・優秀賞（2点程度）
5千円相当の賞品

・入選（2点程度）
2千円相当の賞品

■その他

応募規定や応募方法等につきましては広報ましけ6月号の折り込みチラシをご覧ください。

閩役場町民課・町民環境係
(☎5311112)

◇日曜当番医◇

【9月28日】（留萌市）

たけうち内科循環器内科医院
（高砂町3☎428820）
※右記以外の土日祝日及び夜間診療は、かかりつけの病院へお問い合わせください。

新着本案内

またうど

卓見と奮迅の働きで江戸の経済を支えた老中の田沼意次。なぜ彼は突如、罷免され領地を没収されたのか？失脚してもなお失わない誇りと、引き際の美しさが胸に染みる傑作歴史小説。



閩総合交流促進施設元陣屋（電話 53-3522）

まるごとうちゅうカレー

グーッと鳴り響くお腹の音。よし、カレーを作ろう。献立は「丸ごと宇宙カレー」。お星さまをザクザク切って、熱々のフライパンで炒めよう。お月様の目玉焼きもつけちゃうよ！



人の動き

8月1日～8月31日届出分(敬称略)

8月末 人口と世帯

人口 3,433 人 (-16)
男 1,588 人 (-6)
女 1,845 人 (-10)
世帯 1,935 世帯 (-6)
()は前月との増減

町税等の納期について

上下水道料金 9月25日(木)

☎ 役場上下水道課(☎53-1152)

国民健康保険税(第3期) 9月30日(火)

☎ 役場税務課・税務係(☎53-1114)

■ 厚志ありがとうございます ■

◆ 各自治会等へ(現金) (受付順)

○ 香典の一部から

・ 福原 和夫さん(南島中町) 49区自治会へ

◆ 増毛町社会福祉協議会へ(現金) (受付順)

○ 社会福祉に

・ 増毛サツカー連盟 会長 武田 瑞司さん

・ 小倉 成子さん(阿分)

【9月号への掲載希望 9月19日(金)まで】

☎ 役場町民課・町民環境係(☎53-1112)

有償運送事業あつぷるハイヤーについて

【運行時間】9:00～24:00(23:30受付終了)

※日曜日の運行は17:00までです。

【運動区域】増毛町内全域(町外への運行はできません。)

【初乗り料金 1.7 kmまで】9:00～17:00【平日】300円【休日】500円

17:00～24:00【夜間】600円【平日・休日ともに】

【お問合せ先】あつぷるハイヤー(☎53-1022)



健康・暮らし・環境カレンダー

9/5 金	●広報ましけ9月号発行 ●ふまねっと運動教室 13:30～14:30 文化センター中ホール 不燃 かび	21 日	
6 土	●総合健診 個別通知 旭川がん検診センター	22 月	生 粗大
7 日		23 火	㊟秋分の日 ●ごだらっぺ王国祭 10:00～ 文化センター/町立体育館 ●温水プール今季営業終了 可燃 資源1
8 月	●乳幼児相談 9:30～11:30 健康一番館 ●ベビーマッサージ教室 10:00～11:00 健康一番館 生	24 水	●脳生き生き音楽教室 10:30～11:30 健康一番館 ●日本脳炎・子宮頸がん・二種混合予防接種 15:30～16:00 市街診療所 ペット プラ
9 火	●関節健康トレーニング 10:30～11:30 健康一番館 ●ストレッチヨガ 18:30～19:40 文化センター 可燃 資源1	25 木	●ザ・サーキット 18:30～ 文化センター 生 資源2
10 水	●脳生き生き音楽教室 10:30～11:30 健康一番館 ペット プラ	26 金	不燃 かび
11 木	●ザ・サーキット 18:30～ 文化センター 生 資源2	27 土	
12 金	●乳幼児総合健診 個別通知 健康一番館 ●おはなしポトフ・プチ 13:00～ 健康一番館 不燃 かび	28 日	●第54回増毛秋の味まつり 10:00～14:00 増毛港中央埠頭
13 土		29 月	生
14 日		30 火	●定例行政相談所開設 10:00～12:00 文化センター ●関節健康トレーニング 10:30～11:30 健康一番館 ●ストレッチヨガ 18:30～19:40 文化センター 可燃
15 月	㊟敬老の日 生 木	10/1 水	●脳生き生き音楽教室 10:30～11:30 健康一番館 ●五種混合・B型肝炎・ロタ予防接種 15:30～16:00 市街診療所 ペット プラ
16 火	●関節健康トレーニング 10:30～11:30 健康一番館 ●ストレッチヨガ 18:30～19:40 文化センター 可燃	2 木	●ザ・サーキット 18:30～ 文化センター 生
17 水	●脳生き生き音楽教室 10:30～11:30 健康一番館 ●小児肺炎球菌・BCG予防接種 15:30～16:00 市街診療所 ペット プラ	3 金	●ふまねっと運動教室 13:30～14:30 文化センター中ホール 不燃 かび
18 木	●フレイル予防教室 10:00～11:30 老人福祉センター2階 ●ザ・サーキット 18:30～ 文化センター 生 金属危険	4 土	●増毛中学校 学校祭
19 金	☆粗大ゴミ申込受付最終日 ●ふまねっと運動教室 13:30～14:30 文化センター中ホール 不燃 かび	5 日	
20 土	●史跡巡りツアー 9:00～ 文化センター出発	6 月	●広報ましけ10月号発行 ●乳幼児相談 9:30～11:30 健康一番館 ●ベビーマッサージ教室 10:00～11:00 健康一番館 生

家庭ごみの収集日について

生 生ごみ	可燃 可燃系埋立ごみ	不燃 不燃系埋立ごみ	プラ プラ製容器	ペット ペットボトル
かび かん、びん	木 木くず	金属危険 金属類、危険ごみ	粗大 粗大ごみ	
資源1 紙製容器、雑がみ、白色トレイ、発泡スチロール	資源2 新聞・チラシ類、雑誌、ダンボール、紙パック			

粗大ごみの収集について(毎月第4月曜日) 留萌南部衛生組合(電話43-2555・43-2588)

- ① 1回の収集につき5点までしか出すことができません。粗大ごみ収集の申込は9:00～17:00(受付最終日は15:00)までに、留萌南部衛生組合(電話43-2555・43-2588)に電話申込してください。その際にステーション番号を忘れずに伝えてください。
- ※「ごみ分別ハンドブック」では、申込は2日前の15:00までとなっていますが、増毛町の場合は、3日前(休日の場合、その前日)の15:00までとなります。
- ② ごみ袋販売店にて粗大ごみ処理券を購入し、当該粗大ごみに貼り付け、収集日の9:00までにごみステーション横又は自宅前に出してください。